

日本赤十字社本社学生研修に行ってきました！（2年生）



7月5日土曜日、私たち65回生は東京広尾にある日本赤十字看護大学広尾ホールで行われた本社研修に参加しました。この研修は『国際人道法、国際活動について理解を深めよう！』というテーマで行われ、当日は当校を含め、長野・諏訪・松山・富山・大阪・石巻・京都第一・助産学校の9つの赤十字専門学校が参加しました。

日本赤十字社事業局小森看護部長は講話『看護学生に期待すること』のなかで、先見性・開拓・創造・確実な看護実践力を持っている赤十字人が求められていると言われていました。私達はこれからの講義や実習で、患者に寄り添った確実な看護技術や知識、丁寧さ・やさしさ・所作の美しさを兼ね備えた赤十字の看護師に一步でも近づけるように頑張っていきたいと思いました。

次に、イラクやタンザニアで戦争・紛争被害者救援、難民支援活動を経験された名古屋第二赤十字病院看護師長関塚美穂さんより『もっと知ろう！赤十字の国際活動』というテーマで講話を聴きました。そのなかで最も印象的であったのは、“看護ケアの3つのH”でした。1つ目はHEART（あなたを大切に思う心）、2つ目はHEAD（知識：病態アセスメント・判断）、3つ目はHAND（的確な技術）であり、この3つを兼ね備え適切な看護を行っていかないといけないというものでした。今後看護ケアを実践していくうえでこの3つのHを意識していきたいと思いました。また、戦争・紛争地域の人々の状況を見る機会にもなり、今までの自分たちの生活がどれだけ豊かであったかを理解したので、これからは本当に必要なものだけ購入したり、水や電気はこまめに切るなどの行動をしていきたいと痛感しました。

その後「赤十字の一員として大切にしたいこと、『今』自分に出来ること」について他校の学生と語り合うことで、それぞれの思いを共有する機会を持ちました。高い志に刺激を受け、みんなでさまざまな困難を乗り越えていきたいと思いました。

この本社研修で学んだ貴重な経験やその時感じた新鮮な気持ちを忘れることなく、講義や実習を通して自己の看護観を確立することができるよう、一生懸命努力していきたいと思えます。

（65回生学生）